財政収支（1月）

（１）１月の歳入は前年同期比113.5％増、税収は同104.6％増。歳出は前年同期比139.0％増。
（２）結果として1月の財政収支は1,507.19億リラの赤字（前年同期比367.4％増）、プライマリーバランスは296.26億リラの赤字（同172.2％増）。

データ：財務省　単位：億リラ

歳入・歳出内訳	2023年1月（A）	2024年1月（B）	増加率（（B－A）/A）
歳入(a)	2,890.78	6,172.49	113.5%
税収	2,528.26	5,172.01	104.6%
所得税	495.78	1,028.37	107.4%
法人税	91.81	101.07	10.1%
付加価値税（国内及び輸入）	934.01	1,995.52	113.7%
特別消費税	447.88	977.07	118.2%
その他税収	558.78	1,069.98	91.5%
税外収入等	3.63	10.00	176.0%
歳出（b）	3,213.20	7,679.68	139.0%
人件費	1,032.40	2,602.50	152.1%
物品及びサービスの購入	198.26	270.56	36.5%
経常移転	1,463.81	2,846.56	94.5%
資本支出	98.84	180.57	82.7%
支払利子（c）	213.59	1,210.93	466.9%
その他歳出	206.30	568.56	175.6%
財政収支（a－b）	▲ 322.43	▲ 1,507.19	▲367.4%
基礎的財政収支（a－（b－c））	▲ 108.83	▲ 296.26	▲172.2%

経常収支（2023年1-12月）

（1）2023年1-12月の経常収支は、451.50億ドルの赤字（前年同期は490.85億ドルの赤字）。
（2）2023年1-12月の貿易収支（物品）は865.59億ドルの赤字で前年同期から赤字幅減少、旅行収支は410.24億ドルの黒字で前年同期から黒字幅拡大。

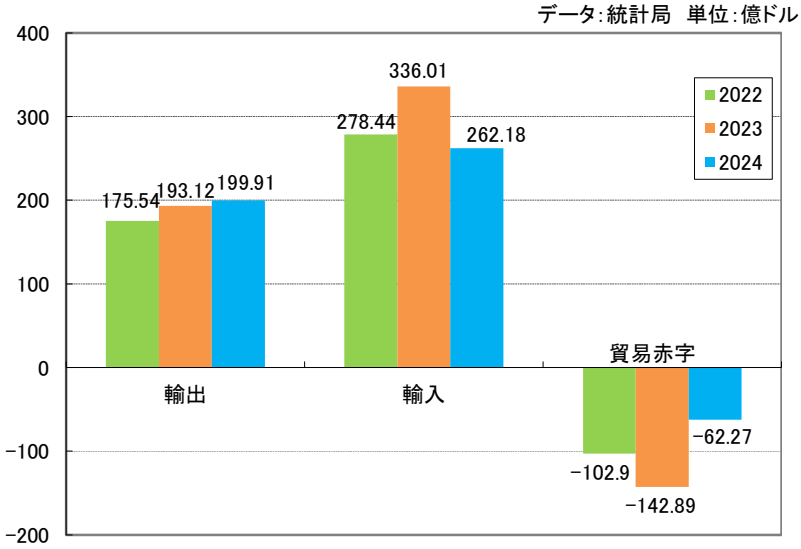
データ：中央銀行　単位：億ドル

内訳	2022年1-12月（A）	2023年1-12月（B）	増加率（（B－A）/A）
経常収支	▲ 490.85	▲ 451.50	8.0%
貿易収支（物品）	▲ 896.00	▲ 865.59	3.4%
サービス収支	496.65	520.29	4.8%
旅行収支	373.17	410.24	9.9%
第1次所得収支	▲ 87.79	▲ 112.13	▲ 27.7%
第2次所得収支	▲ 3.71	5.93	259.8%
労働者送金	1.90	1.98	4.2%
資本移転等収支	▲ 0.35	▲ 2.05	▲ 485.7%
金融収支	▲ 229.36	▲ 560.50	▲ 144.4%
直接投資	▲ 87.31	▲ 46.78	46.4%
証券投資	136.72	▲ 83.44	▲ 161.0%
その他投資	▲ 401.88	▲ 410.01	▲ 2.0%
外貨準備	123.11	▲ 20.27	▲ 116.5%
誤差脱漏	261.84	▲ 106.95	▲ 140.8%

貿易収支（1月）

（1）1月の輸出額は199.91億ドル（前年同期比3.52％増）、輸入額は262.18億ドル（同21.97％減）となり、この結果、貿易収支は62.27億ドルの赤字（同56.42％赤字幅縮小）となった。
（2）1月の輸出額におけるEU向け輸出の占める割合は41.7％（前年同期は42.2.％）、輸入額におけるEUからの輸入の占める割合は29.9％（前年同期は21.6％）となっている。

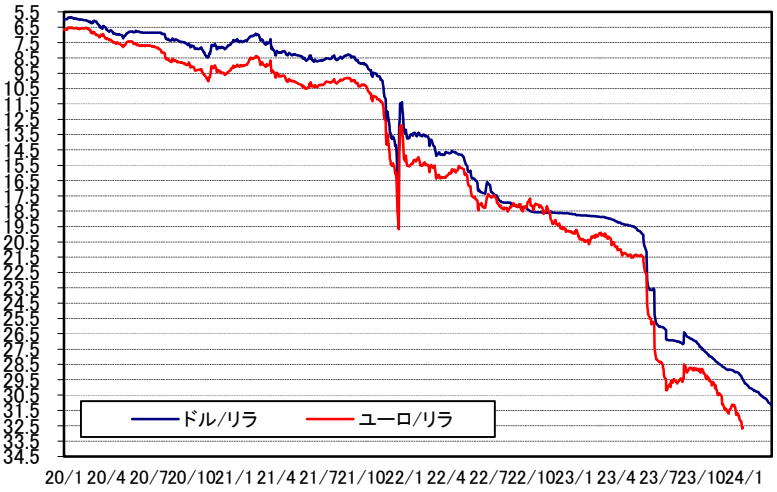
データ：統計局　単位：億ドル



為替（2月）

2月2日、エルカン・トルコ中央銀行総裁が自身のSNSアカウントで辞任を発表し、為替が変動した場面があったものの、辞任理由や後任にカラハン中銀副総裁が指名されたことで市場が大きく混乱することはなかった。月末は1ドル＝31.15リラ（前月末比2.8%安）、1ユーロ＝33.76リラ（同3.0%安）となった。

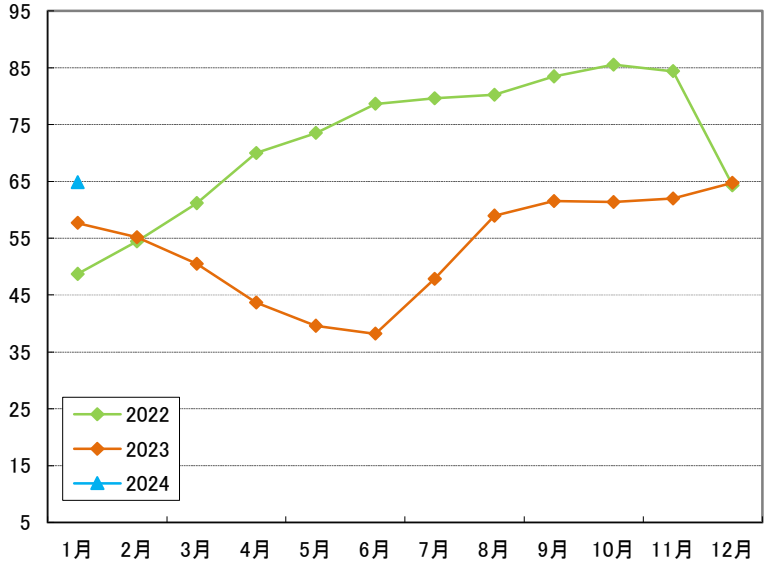
データ：中央銀行　単位：リラ



消費者物価上昇率（1月）

（1）1月の消費者物価は前年同月比64.86%増、前月比6.70%増。
（2）項目別にみると、前年同月比92.27%でホテル及び飲食店が、前月比17.68%で健康が最も上昇した。
（3）2024年末のインフレ率の中銀目標（2/8時点）は前年同月比36%。
（4）国内生産者物価指数は前年同月比44.20%増、前月比4.14%増となった。

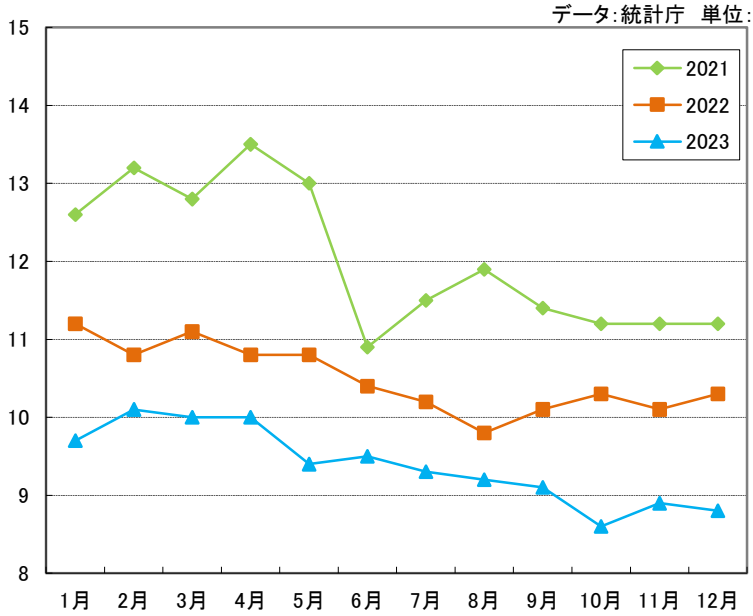
データ：統計庁　単位：前年同月比（%）



失業率（12月）

（1）12月の失業率（季節調整後）は8.8%となり、前月から0.1ポイント減少。
（2）労働力人口は3,515.4万人、就労者数は3,205.6万人、失業者数は309.8万人。
（3）男性の失業率は7.1%、女性は12.0%。若年層（15-24歳）の失業率は15.5%となっている。

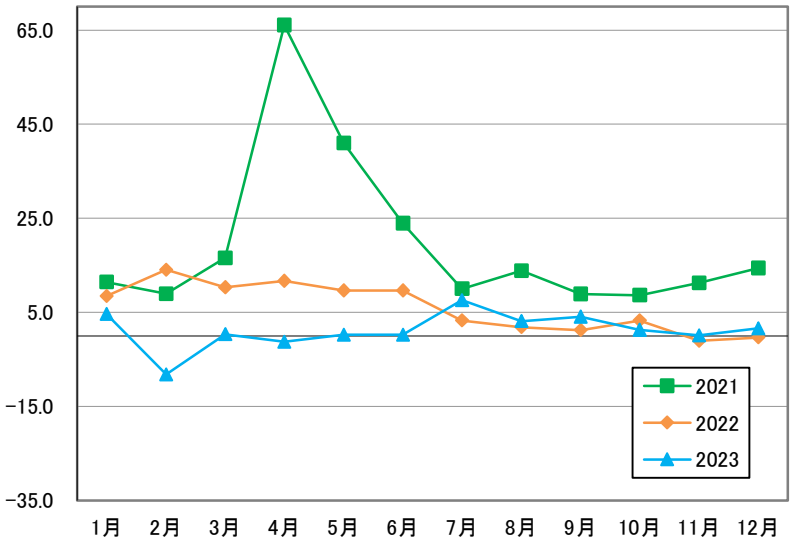
データ：統計庁　単位：%



鉱工業生産（12月）

（1）12月の鉱工業生産指数は、前年同月比（日数調整後）1.6%増。
（2）分野別では、耐久消費財が前年同月比3.4%減、資本財が同6.1%増、中間財が同3.5%増となった。

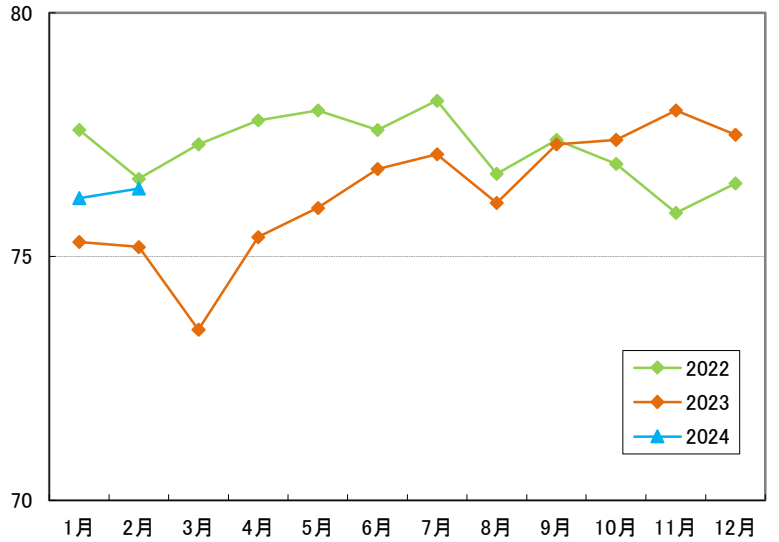
データ：中央銀行　単位：前年同月比（%）



設備稼働率（2月）

（1）2月の設備稼働率は76.4%となり、前年同月から1.2ポイント上昇し、前月から0.2ポイント上昇。
（2）製造業の分野別では、紙及び紙製品製造業（84.0%）が最も稼働率が高く、皮革及び関連製品製造業（62.7%）が最も低い稼働率であった。

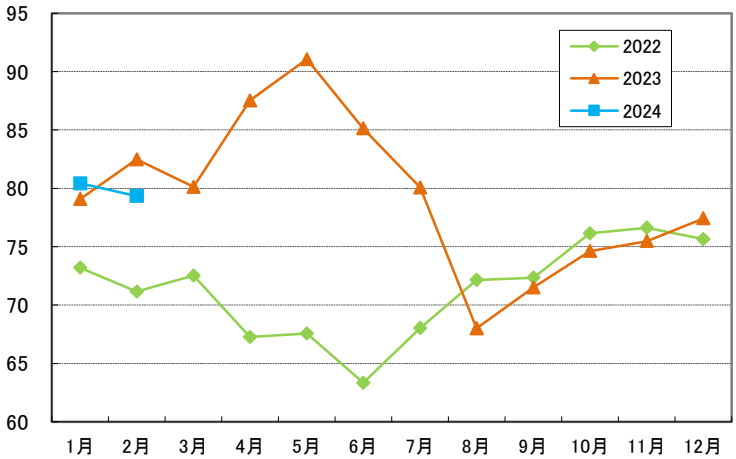
データ：中央銀行　単位：%



消費者信頼感指数（2月）

（1）2月の消費者信頼感指数（季節調整値）は79.3ポイントで、前月から1.1ポイント減少。
（2）内訳では、「現在の家計の財政状況」及び「今後12か月間の家計の財政状況見通し」、「今後12か月間の一般経済状況見通し」、「今後12か月間の耐久消費財への支出見通し」は前月から減少した。

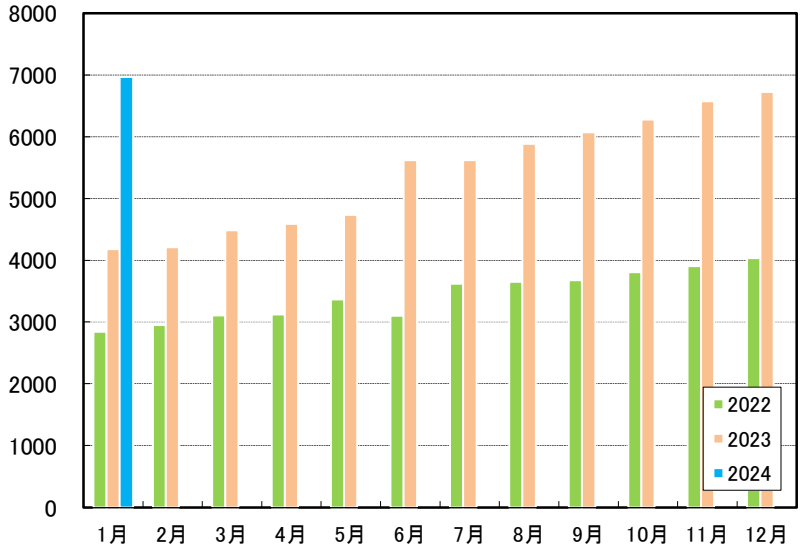
データ：統計庁　単位：ポイント



中央政府債務残高（1月）

（1）1月末時点での中央政府債務残高は6兆9,651億リラとなり、前年同月比66.7%増、前月比3.6%増となった。
（2）また、国内債務比率は48.3%、自国通貨債務比率は36.6%（2023年末は35.8%）となっている。
（3）なお、債務残高のうち円は0.8%で、外貨ではドル、ユーロに次ぐ地位を占めている。

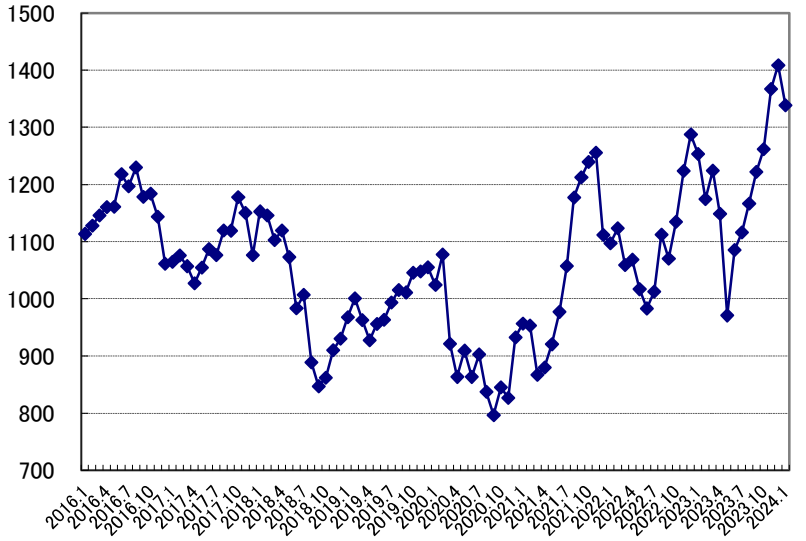
データ：財務省　単位：10億リラ



外貨準備高（1月）

（1）1月末時点での中央銀行の外貨準備高（金を含む）は1,338.58億ドルとなった。
（2）前月から70.26億ドル減少した。

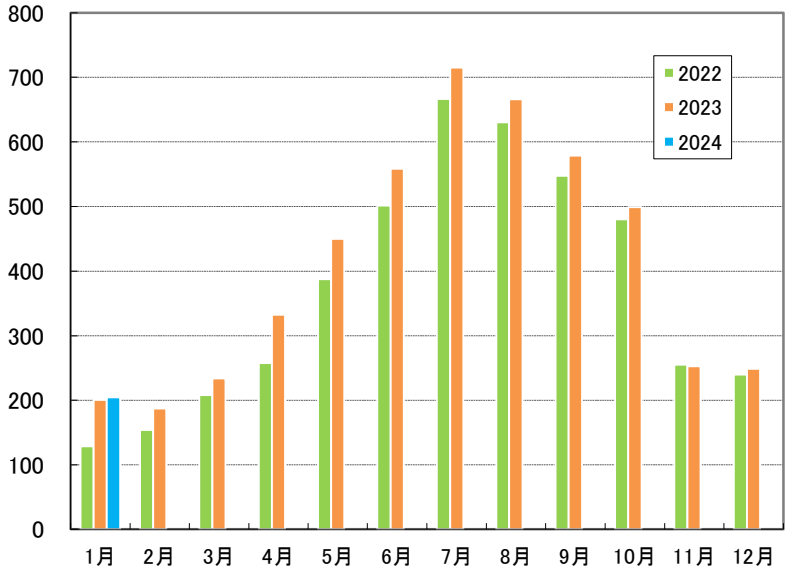
データ：中銀　単位：億ドル



外国人訪問者数（1月）

（1）1月の外国人訪問者数は2,047,158人で、前年同月比2.05%増。日本は6,271人であった（前年同月は3,113人）。
（2）国別ではロシアが最も多く、230,579人で全体の11.26%を占め、以下、イラン(211,801人)、ブルガリア（162,414人）となっている。

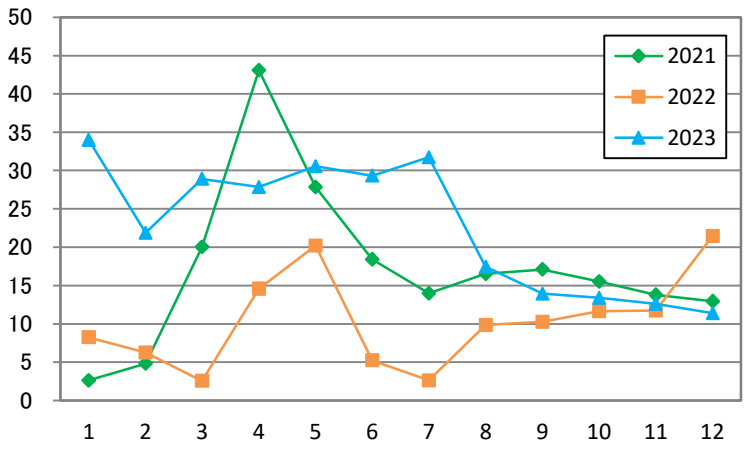
データ：文化観光省　単位：万人



小売売上高（12月）

（1）12月の小売売上高は前年同月比（日数調整後）11.4%増、前月比（季節及び日数調整後）1.7%増。
（2）内訳は食品・飲料・タバコが前年同月比8.7%増、繊維・衣料が同5.3%増、コンピュータ・書籍・通信機器が同31.9%増となった。

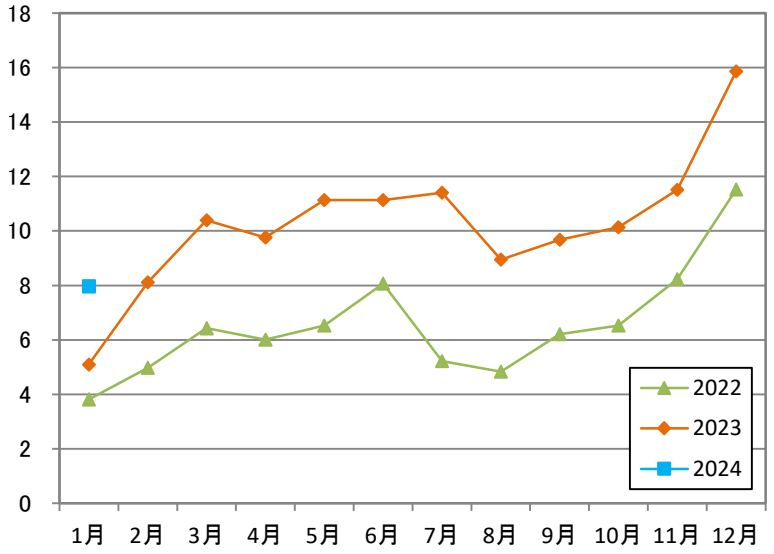
データ：統計庁　単位：前年同月比（%）



新車販売台数（1月）

（1）1月の新車販売台数は79,701台で前年同月比56.6%増。
（2）1月の内訳は乗用車が64,041台（前年同月比71.75%増）、小型商用車が15,660台（同15.1%増）となった。

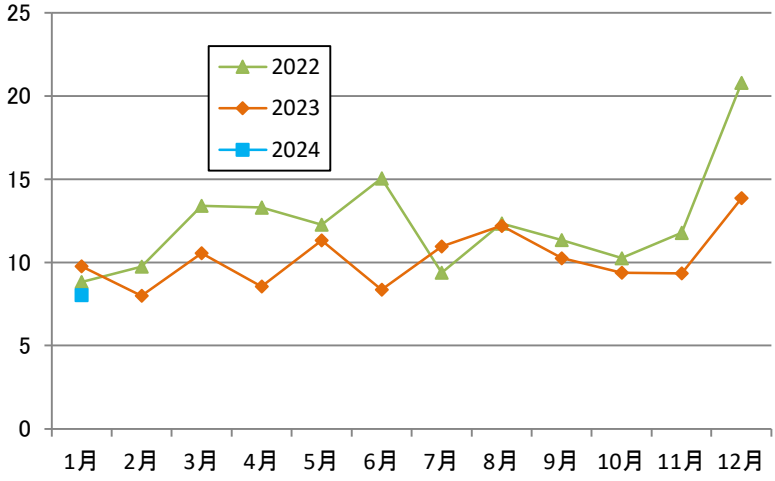
データ：自動車販売協会　単位：万台



住宅販売戸数（1月）

（1）1月の住宅販売戸数は80,308戸で前年同月比17.81%減となった。
（2）1月は新築が25,263戸（前年同月比8.2%減）、中古が55,045戸（同21.6%減）。
（3）1月の住宅ローンでの購入は5,915戸（前年同月比63.5%減）、その他が74,393戸（同8.7%減）。

データ：統計庁　単位：万戸



※本資料は、当館がトルコ政府発表資料を取り纏めた参考資料であり、当館がその正確性等を保証するものではありません。